

入札参加者 各位

7営設第2347号
令和7年11月20日

福岡県建築都市部営繕設備課長

新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	A-016-31	「建具表(31)」において、WD-102～104 障子の材質はスチール、枠はW(木製)で図示されていますが、障子もWと考えてよろしいでしょうか。 また枠の仕上がUU(指定色ウレタン樹脂焼付塗装)となっていますが、UC(ウレタンクリア塗装)ではないでしょうか。障子の材質、仕上、枠の仕上をご指示ください。 またWD-102について、Wの材質はWD-103、104と同様に「合板t12サンディング処理WP」と考えてよろしいですか。	宜しいです。
2	A-304 A-308 A-309	A-304「外部仕上表」において、茶室会館、茶室等の屋根は「日本瓦葺(六四棧瓦、一文字瓦)」の記載がありますが、A-308「立面図」、A-309「屋根伏図」では「六四棧瓦」の記載がありません。 「六四棧瓦」の適用範囲をご指示ください	屋根伏図を正としてください。
3	A-320	図面右上に「障子全面貼替」と記載がありますが、建具符号S-7、S-8はガラス障子となっています。これらは本工事内でしょうか。本工事の場合、「摺りガラスt2.0入替」ということでしょうか。	入札時はガラス入替はないものとして扱ってください。 工事監理者と協議の上、現場にて必要と判断される場合は再度ご協議ください。
4	A-089-7	木ルーバーをPC板にSTPL曲げピースですが、t9.0のプレートは90度に曲げても図示のような矩は出ないかと思います。 不等辺山型鋼の100x75x10、若しくは100x75x7に置き換えてもよろしいでしょうか。	不等辺山型鋼の100x75x10としてください。
5	A-089-7	木ルーバーに取り付ける下地金物のCT鋼を確認すると、図示された100×100×9は規格外と思われます。100×100×5.5が一番大きなサイズと思われますが、これに置き換えてもよろしいでしょうか。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
6	A-089-7	木ルーバーに取り付ける下地金物について、CT鋼とPLを溶接して十文字にする箇所の溶接は隅肉溶接と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
7	A-089-7 A-008-1	A-089-7図にある木ルーバーに取り付ける下地金物の仕上げは「溶融亜鉛メッキリン酸処理」と記載されていますが、メッキ付着量をご指示ください。 また、リン酸処理の色の型番はA-008-1「外部仕上表」にある「CT形鋼ZP N5」と同じと考えてよろしいでしょうか。	付着量550g/㎡以上とします。 CT形鋼ZP N5と同様で宜しいです。
8	A-089-7	下図※1、※2の箇所のボルト仕様をご指示ください。緩み止めなどの措置も必要であれば、併せてご指示ください。	※1:六角ボルトM10×45 ※2:アンカーボルトM10×70 緩み止めはスプリングワッシャーとします。
9	A-089-7	木ルーバーと下地金物を固定するM8ボルトについて、PL側に目ネジ加工をして外部からボルトを締め付ける仕様になっていると認識しております。 その際、M8ボルトの頭が出てくるため、木ルーバー側に座掘り加工が出てくるかと思いますが、その認識Dよろしいでしょうか。	宜しいです。